

# 平成24年度 事業実施報告書

1

## 生産性向上・合理化推進事業

ものづくりの現場力をいかに強化するか。これは、製造業がグローバル競争を勝ち抜いていくための重要課題である。本事業では、個々の企業が生産性の向上、品質・コストの改善に取り組むうえで不可欠な実務知識や実践ノウハウを習得する場として、様々な切り口からセミナーや研修講座を開催した。

### 1-1 生産管理セミナー

概要	スピードとコストの両面で競争力を発揮できる、足腰の強い現場づくりを目指して、生産管理に関わる幅広いテーマを取り上げた。	
実施内容	「生産管理の基本」、「原価把握とコストダウン」、「在庫の管理と削減」など	
	開催件数	31回

### 1-2 品質管理セミナー

概要	品質の確保・向上は永遠の課題である。その基本となるQC手法、人的ミスの予防策、不良品の再発防止など、現場視点からの実務セミナーを開催した。	
実施内容	「品質トラブル予防」、「検査業務の見直し」、「ヒューマンエラー対策」など	
	開催件数	28回

### 1-3 現場改善セミナー

概要	あらゆるムダを排除し、コスト削減やリードタイム短縮を図る。職場の改善意識を高め、現場力に磨きをかけるための実践技法を様々な角度から取り上げた。	
実施内容	「5S実践」、「段取り改善」、「ムダ取り」、「生産革新の進め方」など	
	開催件数	28回

### 1-4 工場管理実務研修

概要	製造企業の管理者層を対象にした中長期の研修コースを開催。現場改革の推進役あるいは生産統括責任者に求められるスキルと知識を習得させた。	
実施内容	「工場長・製造部長能力開発」、「工程管理実務研修」、「資材購買実務研修」など	
	開催件数	12コース、87回

### 1-5 製造部門人材育成研修

概要	製造現場の監督者・リーダー層、あるいは若手層のスキルとモチベーションを高めるため、実践力強化研修を開催した。	
実施内容	「製造部門 監督者研修」、「若手社員スキルアップ」、「部下指導の進め方」など	
	開催件数	43回

技術力こそものづくり企業の活力の源泉である。技術力で勝負していくためには、新製品開発、独自技術の探求、そして既存製品の改良や高付加価値化など課題は多いが、それらに挑戦し続けていくことが不可欠である。本事業では、企業の技術力向上を目的として、新しい価値を生み出す設計・開発部門から、図面をもとに部品・製品を形づくる加工技術の領域、円滑なものづくりを支える生産技術、さらに環境対応技術まで、全方位的にテーマを設定して研修会を開催し、技術系人材の育成を図った。

### 2-1 工業技術セミナー

概要	ものづくりを支える現場技術、生産技術に携わる人材を育成し、さらなるスキルアップを図るため、幅広い技術テーマを取りあげて研修会を開催した。	
実施内容	「金属加工技術講座」、「材料技術講座」、「電気の基礎」、「シーケンス制御」など	
	開催件数	53回

### 2-2 環境技術セミナー

概要	環境負荷低減に役立つ新しい技術を理解し、活用するためのセミナーを開催。また、生産活動で注意すべき環境法令・規制への対応策も研修テーマとした。	
実施内容	「節電・省エネ」、「工場エアの省エネ」、「環境法規制対応」など	
	開催件数	5回

### 2-3 設計実務研修

概要	生産の最上流工程である開発・設計は、コストや品質に大きく影響することから技術者の能力開発が欠かせない。また、共通言語としての図面は全員が身につけておくべき知識であるため、設計と製図をテーマに実務視点での研修を実施した。	
実施内容	「設計力強化研修」、「自動機設計」、「図面の読み方」、「検図入門」など	
	開催件数	43回

### 2-4 技能開発訓練

概要	専門知識とともに技能が求められる技術分野については、実習を通して修得する場として、研修施設を持つ企業の協力を得て、実技訓練を行った。	
実施内容	「機械保全」、「油圧技術」、「手加工」、「設備の異常発見」など	
	開催件数	21回

2-5 メカトロニクス技術講座		(後援/大阪府)	
概要	機構や機械要素などのメカニクス、電気回路や制御などエレクトロニクスの両方に通じた技術者を育成する長期研修。生産技術の開発や機械設備の保全・改良に携わる者のスキルアップのため、座学だけでなく、実技訓練や工場見学を組み合わせた実践的なカリキュラムで実施した。		
実施内容	座学:「電気の基礎」、「センサ」、「モータ」、「インバータ」、「空気圧」、「伝達機構」など 実習:「PLC制御」、「自動化ライン構築」 見学:オムロン(株)綾部事業所、タイヨーテック(株)		
	開催期間	4月～9月	開催日数 38日

2-6 大阪府工業技術大学講座		(後援/大阪府)	
概要	若手・中堅技術者を対象とした長期夜間講座。機械系工学理論の基礎から応用技術までの習得、かつ高度な先端技術への理解を深めることを目的に、第52期として実施した。夜間の講義に加え、実習科目、見学研修をあわせて行い、企業の次代を担う技術者が身につけておくべき総合力を習得させた。		
実施内容	座学:「材料力学」、「機械製図」、「生産加工技術」、「機械計測」など27科目 実習:「NC旋盤」、「油空圧」、「溶接」、「製図」、「CAD」など7科目中2科目を選択受講 見学:ダイキン工業(株)、(株)西島製作所、(株)ジェイテクト、大阪機工(株)など10工場		
	開催期間	4月～平成25年3月	開催日数 130日

### 3 経営強化・労務対策推進事業

グローバル競争はいよいよ苛烈な状況となり、国内では人口減少で需要の先細り懸念が強まってきた。輸出企業は円高に苦しみ、海外生産をさらに加速。内需型の企業は限られたパイの中で、海外製品との競争もあって受注単価が下落し、収益性を悪化させている。こうした状況下で、生き残りをかけて経営革新および経営基盤の強化に取り組もうとする企業のために、以下のような事業を展開した。

3-1 経営管理セミナー	
概要	各部門管理者や経営管理スタッフを対象に、経営上の実務的な課題について様々なテーマを設定し、問題解決と新しい方向性を示すセミナーを行った。
実施内容	「管理会計実務講座」、「原価計算」、「資金繰り」、「与信管理」など
	開催件数 20回

3-2 人事管理セミナー	
概要	労働関係法令の理解、就業規則や人事考課、賃金、処遇など人事労務管理に関する多様な課題をテーマに、実務者を対象とした詳細なセミナーを開催した。
実施内容	「賃金制度再設計」、「労基法の基本」、「社会保険等事務手続き」、「人事考課」など
	開催件数 20回

<b>3-3 営業強化セミナー</b>		
概要	営業力の強化と営業活動の効率化を目的として、管理者から第一線営業社員までの階層別研修、および営業戦略や行動計画の立て方などの実務研修を行った。	
実施内容	「ランチェスター戦略」、「交渉力強化」、「新規開拓」、「技術営業」など	
	開催件数	29回

<b>3-4 国際経営セミナー</b>		
概要	経営幹部には海外事業展開の方策や各国の動向を学ぶセミナーを、スタッフには貿易にかかる輸出入手続きや外国為替などの実務を習得するセミナーを開催した。	
実施内容	「海外販路開拓」、「中国での工場運営」、「輸出管理」、「国際税務」、「貿易実務」など	
	開催件数	15回

<b>3-5 職務別能力開発研修</b>		
概要	若手から中堅層を対象に、日常業務を全うするための基本事項を再確認し、さらなるステップアップを促すことを目的とした実践教育を展開した。	
実施内容	「初めて学ぶ経理」、「総務担当者の基礎」、「ビジネスマナー」、「報・連・相」など	
	開催件数	24回

<b>3-6 階層別能力開発研修</b>		
概要	経営目標の達成に向け、各自の責任・役割に対する自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を再確認する研修を行った。	
実施内容	「部長研修」、「課長研修」、「係長研修」、「主任研修」、「入社2年目研修」など	
	開催件数	26回

<b>3-7 内部監査員教育研修</b>		
概要	国際標準に基づく品質保証体制、ならびに環境管理活動の中核を担う内部監査員を養成するため、ISO規格の解説から模擬監査までを行う研修を開催した。	
実施内容	「ISO9001内部品質監査員養成コース」、「ISO14001内部環境監査員養成コース」	
	開催件数	16回

多方面からの情報収集の支援と企業間の経営面・技術面での交流を促進する本事業は、人材育成と並ぶ協会事業の大きな柱である。

いま、ビジネス環境は、新興国の急激な追い上げと市場化による産業構造の変革、人口減少と市場の成熟化による国内需要の減衰、早急な対応が求められる地球環境保全、技術革新にともなう商品の改廃や知的財産権問題等々、変化のスピードが速いうえに、新たな課題が次々と現れる状況にある。こうした状況に立ち向かうために、新しい視点や柔軟な発想を持ち、従来の垣根を越えた幅広い領域から知恵と情報を集めることを目的として、テーマを絞った研究会を複数設定し開催した。

#### 4-1 工場経営研究会

概要	経営幹部・製造責任者が工場運営の舵取りを行う上で不可欠な、実務知識とノウハウを体系的に学ぶことを目的とした研究会。参加者同士のディスカッションや情報交換により相互研鑽を促し、工場運営を全般にわたって統括・マネジメントできる人材の養成を図った。		
実施内容	定例研究会:「工場の経営戦略」、「事業計画の立案」、「在庫管理」、「工場の省エネ」、「技能伝承と多能工化」、「人材育成」、「原価管理」など20回 特別研究会:企業事例として「ロングヒット商品開発」、「特許戦略」、「経営マインド」の3回		
	開催期間	4月～平成25年3月	開催日数 23日

#### 4-2 省エネルギー対策研究会

(後援/近畿経済産業局、大阪府)

概要	環境問題や節電要請への対応、オペレーションコストの低減のため、生産活動のなかでいかにして省エネルギー目標を達成していくかが各社共通の課題となっている。そこで、どこに省エネの余地があるのか、どんな改善方法があるのかについて個別具体的なテーマを取り上げ、今後の省エネへの取り組み方を探求した。		
実施内容	「節電」、「省エネ法の理解」、「照明の省エネ」、「空調の省エネ」、「ポンプの省エネ」、「空気圧縮機の省エネ」、「インバータの活用」などをテーマに毎月1回開催。		
	開催期間	4月～平成25年2月	開催日数 10日

#### 4-3 省エネルギー実践研究会

概要	喫緊の課題である省エネに対して「現場・現物で捉え、できることから即実践する」ことを目標に、実地見学と体験を盛り込んだ研究会を開催した。		
実施内容	コンサルタントによる解説と機器メーカーによる省エネ対策の事例紹介を行った。メーカー見学は、「蒸気の省エネ」(株)ティエルブイ、「空気圧の省エネ」SMC(株)の2社。		
	開催期間	平成25年2月～3月	開催日数 4日

4-4 知的財産研究会		(後援/近畿経済産業局、大阪府)	
概要	新しい技術や付加価値の高い製品を知的財産権で守り、他の追随を許さない戦略が生き残りの鍵を握る。本研究会では知的財産を企業戦略の重要な柱と位置づけ、積極的に創造、保護、活用していくための方策をともに学び、考える場として実施した。(大阪工業大学知的財産学部との連携による共同開催)		
実施内容	「知財強化の取り組み事例」、「特許情報検索」、「発明の進歩性判断」、「著作権保護」、「中国での知財保護」、「ブランド管理」などをテーマに毎月1回、定例研究会を開催した。		
	開催期間	5月～平成25年3月	開催日数 10日

4-5 次世代自動車研究会		(後援/大阪府)	
概要	昨今の自動車開発は、環境性能を競う技術革新が急ピッチで進んでいる。自動車産業の裾野を形成する中小製造業にも深く関わっており、次なる事業展開のヒントを見出すためには、情報のアンテナを張り巡らせておくことが重要である。そこで、本研究会では自動車関連メーカーの戦略および技術動向を知る場として、講演会や見学会を開催した。		
実施内容	ダイハツ工業(株)、トヨタ車体(株)、日産自動車(株)、富士重工業(株)、(株)ジェイテクトなど自動車および部品メーカーを訪問し、工場見学と講演会を行った。		
	開催期間	6月～12月	開催日数 8日

4-6 新エネルギー開発研究会			
概要	太陽光発電や風力発電など自然エネルギーによる「創エネ」は、化石燃料の消費を抑制し地球温暖化の防止にも貢献する技術として注目されている。また、二次電池・家庭用蓄電池などの「蓄エネ」技術とあわせ、今後の市場拡大が期待できる分野である。本研究会は、エネルギー分野のビジネスチャンスを見出すため、関連技術の最新動向を知る機会として、実地見学を主体に研究会を実施した。		
実施内容	堺メガソーラー(大規模太陽光発電)、南あわじウインドファーム(風力発電)、ハリマエムアイディ(株)(バイオマス発電)、住友電気工業(株)(スマートグリッド)、パナホーム(株)(スマートハウス)を訪問し、実地見学会を行った。		
	開催期間	平成25年1月～3月	開催日数 4日

4-7 経営と人事研究会			
概要	企業における「人」のマネジメントのあり方を考え、労働関係法令の最新情報や他社の事例に学ぶ研究会。人事・労務管理にまつわる課題は幅広く、また、様々な法令の規制が関わってくる。それら多岐にわたる実務知識を体系的に習得するとともに実際の運用のあり方を考える場として開催した。		
実施内容	社会保険労務士など専門家による実務ポイントの解説と事例研究。テーマは、「雇用契約の留意点」、「労働時間に関する法律」、「高齢者雇用」、「非正規社員の活用法」、「メンタルヘルス」、「安全衛生管理」など。		
	開催期間	7月～12月	開催日数 10日

4-8 経営と経理研究会			
概要	<p>経理を学ぶことを通して経営を理解する、あるいは経営上必要となる経理・会計の知識を身につけることを志向したプログラムを編成。経営管理に関する様々な実務課題、事業運営と密接に関わる会計・財務の必須知識を20のテーマで網羅。経営トップはもちろん幹部層の経営判断力と計数感覚を養うとともに、相互交流や情報交換を促進した。</p>		
実施内容	<p>「経営計画の立て方」、「業績管理・予算管理」、「危ない会社の見分け方」、「債権回収」、「会社法の知識」、「税務調査対応」、「キャッシュフロー経営」などのテーマで開催した。</p>		
	開催期間	7月～平成25年3月	開催日数 20日

4-9 事業承継対策研究会			
概要	<p>中堅・中小企業の経営者および経営後継者を対象とし、事業承継にまつわる諸問題をクリアにすることを目的とした研究会。事業承継に関して押さえておきたい法律・税制面の知識、人事・労務面での備え、また、ケーススタディとして事業承継の成功・失敗事例とその要因分析など、多彩なプログラムで開催した。</p>		
実施内容	<p>「経営後継者の自己革新」、「会計数値の扱い方」、「キャッシュ重視の経営体質づくり」、「売り上げ拡大の方策」、「効果的な会議の進め方」、「組織・人事管理の要点」など。</p>		
	開催期間	10月～平成25年3月	開催日数 10日

4-10 新産業と経営革新研究会			
概要	<p>既存の枠にとらわれない新たな市場やビジネスモデルの創造、技術力や独自ノウハウを活かした新分野への進出、あるいは経営革新で生き残りを図ることが重要な選択肢となってきた。そこで、新しいトレンドや技術・市場の動向を掴むとともに、経営の新展開につながるヒントを得るための研究会を開催した。</p>		
実施内容 (Ⅰ)	<p><b>機械加工技術研究会</b></p> <p>産学の各分野からゲストスピーカーを招いて、「最新鋭工作機械の動向」、「難削材・硬脆材の加工技術」、「機械加工における環境対策」、「航空機部品の加工技術」など多様なテーマにより講演および情報交換を行った。</p>		
	開催期間	5月～10月	開催日数 6日
実施内容 (Ⅱ)	<p><b>ものづくり経営研究会</b></p> <p>独自技術や優れた商品で競争力を発揮する中小企業、ユニークなものづくりの現場を訪問し、経営者とのディスカッションによりその強さの秘訣を学ぶ。 (株)ハーマン、サンコー(株)、クロイ電機(株)、(株)タカキタ、福伸電機(株)などを訪問。</p>		
	開催期間	11月～平成25年3月	開催日数 6日

協会の大きな特色は、規模や業種の異なる多様な事業所を擁する会員組織にある。本事業では、会員相互の有機的な連携と協調を促進することを目的に、情報発信および会員交流の支援、そして個々の事業所の経営相談や社内教育の支援等にも積極的に取り組んできた。

### 5-1 機関誌「商工振興」の刊行

(大阪府商工労働部監修)

概要・ 実施内容	経営者や専門家による提言・寄稿の収録ほか、講演録や工場見学記など協会事業の実施報告を掲載し、毎月1回発行。また、事務局にて会員企業の取材や経営者へのインタビューを行い、毎号訪問記を掲載した。	
	さらに今年度からは、大阪府による各種支援施策周知のため、MOBIO（モビオ：ものづくりビジネス支援センター大阪）から発信される情報の広報ページを設けたほか、大阪府立産業技術総合研究所の技術情報を毎号掲載した。	
	発行回数	12回

### 5-2 経営指導と情報提供

概要・ 実施内容	会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行うほか、社内研修の要望に対しては、講師派遣等により対応した。	
	社内研修の支援（講師派遣）	6事業所に対し、25回実施
	会員事業所を対象に参加費無料の講演会を開催。タイムリーなテーマを取りあげ、新しい情報を発信した。	
	開催件数	8回

### 5-3 新入社員教育講座

概要	新入社員に職業人としての自覚を促し、仕事に取り組む心構えと基本常識を修得させるため、総合基礎教育のほか、配属部門ごとの基礎教育やビジネスマナー研修を開催した。今年度はさらに拡充し、金属加工・樹脂成形企業等の新入社員を対象にした基礎技術講座、組織における規律や礼節を身につけさせる合宿研修、それらのフォローアップ研修も実施した。	
実施内容	「総合基礎教育」、「生産実務」、「営業基礎」、「技術系基礎」、「ビジネスマナー」 「材料の知識」、「加工の知識」、「図面の読み方」、「禅寺合宿研修」など	
	開催件数	23回

### 5-4 経営者経営交流会

概要	経営トップがこれからの戦略を考え、進むべき方向を見出す研鑽の場、および異業種企業との相互交流の機会として「経営セミナー」を開催した。	
実施内容	「夏期経営セミナー」、「早春経営セミナー」	
	開催件数	2回



5-5 新技術研究会			
概要	技術革新、生産革新に挑戦し、進化し続ける工場を訪問。その優れた現場の知恵とノウハウを学び、改善のヒントをつかむ研究会。日本で勝ち残る「強い工場」はまだまだ多く存在しており、いずれも他の追随を許さない独自技術や製品開発力を有し、優れた生産技術力あるいは固有の生産システムに磨きをかけている。こうしたメーカーの実際のものづくり現場の見学と技術者によるレクチャーを行うことで、自社の経営、工場運営に役立つ情報を吸収する研究会を開催した。		
実施内容	定例研究会：川崎重工業(株)、キャタピラー・ジャパン(株)、ナブテスコ(株)などで開催 特別研究会：(株)ダイキンサンライズ摂津、日本飛行機(株)などで開催		
	開催期間	4月～平成25年3月	開催日数 16日

5-6 施設と工場見学研修	
概要	ものづくりにおいては「現場から学ぶ」ことが多く、机上の論理ではなく、実際の現場で現物を観察し、現実を認識したうえで問題解決を図ることが重要である。そこで、普段は見ることはできない他社および異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者や技術者の情報収集ニーズに応えた。
実施内容	「物流センター実地見学会」（物流現場のオペレーションの改善事例を学ぶ） 「環境対策施設見学会」（工場における環境への取り組み、その先端事例に学ぶ） 「優秀工場見学会」（東北地方、中国地方にて1泊2日の行程で工場見学会を開催）などを実施した。
	開催件数 23回

5-7 海外視察研修	
概要	海外の産業事情や日系進出企業の動向を実地に見聞する機会として開催。工場を訪問し、現地駐在員から経営上あるいは工場運営上の課題、市場動向、インフラ整備状況などについて説明を受け、実際の生産現場の見学を行った。
実施内容	今年度の訪問先国(都市) 中国(天津、大連)、ラオス(ビエンチャン)、ミャンマー(ヤンゴン)、タイ(バンコク)、ベトナム(ハノイ、ホーチミン)、インドネシア(ジャカルタ)、インド(デリー、チェンナイ)
	開催件数 6回

5-8 優良従業員表彰	
概要	会員事業所における労使関係の安定と従業員の勤労意欲増進を図るため、長年にわたり職務に精励し、他の模範となる従業員として事業主から推薦を受けた者を選考し、表彰を行った。
実施内容	平成24年度 優良従業員表彰式および祝賀会
	開催日 平成24年11月29日

<b>5-9 会員交流と懇親会</b>	
概要	会員企業経営者・事業主の相互理解と親睦を深め、連携・協力が円滑に図られるよう交流・懇親の場を設けた。
実施内容	「井上会長杯ゴルフコンペ」(2回)
	「平成25年新春年賀交歓会」

<b>5-10 健康管理の推進</b>	
概要	会員事業所における従業員の健康管理の一助として、集団検診を実施した。
実施内容	「循環器系検診」「胃・大腸がん検診」

<b>5-11 会員名簿の刊行</b>	
概要	会員事業所の紹介と会員の相互交流・融合化のいっそうの促進を図ることを目的に所在地、従業員数、事業内容などの現状調査を行い、会員名簿を刊行した。
実施内容	平成24年度会員名簿の刊行(平成24年10月)